

## 道徳科学習指導案

1 主題名 理解し合う心 【B- (10)】友情、信頼

2 教材名 5年『心のレシーブ』（出典：東京書籍「新しいどうとく⑤」）

3 主題設定の理由

(1)ねらいとする価値について

本主題は、学習指導要領第5学年及び第6学年の指導内容項目 B- (10) に位置付けられ、「友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、異性についても理解しながら、人間関係を築いていくこと」をねらいとしている。

この段階において、児童は第二次性徴期に入るため、男子同士、女子同士で過ごすことが多くなり、自分と同じ趣味や傾向の閉鎖的な仲間集団を作る傾向が生まれる。もちろん自分と好みや趣向を同じくする人達と一緒にいるのは安心感のあるものであり、コミュニケーションも密に取れているため、お互いに理解し合っているという信頼感がある。しかし、異性や好みや性格が全く違う相手とでも、友情を育むことはできる。自分にはないものをもっている人々と互いに補い合うことで、自分一人ではできないことを達成できたり、自分とは違う視点からの考えや意見に触れることで、考えがより深まったりすることがある。つまり、異性や考え、趣向が違う人と友情を育むことには、同性や自分と同じ趣味、傾向の友達と関わるだけでは得られない良さがあると考え。

友情は、たった一度の出来事で育まれるとは考えにくい。相手の様々な言葉や行動によって、少しずつ相手を信じる気持ち生まれ、相手の優れているところやよさに気がつき、友情が芽生えるのではないかと考える。どんな人にも必ずよいところがあり、様々な場面で見取ることができるが、そうした言動を見ようとする気持ちがなければ、お互いに信頼感を高めることはできず、友情も生まれない。つまり、まずは相手のことをよく見て、その子のよさを知ったり、理解しようと努めたりすることが、友情を支える土台を作っていくことに繋がるのではないかと考える。

こうしたことから、児童がこれまではあまり関わってこなかった異性や友達と友情を育むことのよさを理解するとともに、相手のよさを知り、認めたり、理解したりしようとする意欲を高め、誰とでも前向きに関わろうとする態度を養いたいと考え、本主題を設定した。

(2)児童生徒の実態

本学年に Google Form を用いて、「男女の協力」についてアンケートを行ったところ、「同性と協力できていると思いますか？」という質問には、95%の児童が「協力できている」と回答し、ほぼ全ての児童が同性とは協力できていると感じている。一方で、「異性と協力できていると思いますか？」という質問には、78.3%の児童が「協力できている」、21.7%の児童が「協力できていない」と回答し、同性と比べて、異性とは協力できていないと感じる児童が多かった。協力できていないと感じる具体的な場面については、意見交換や話し合い、片付け等のお手伝いの場面が挙げられた。

Google Form のアンケート結果からも分かるように、本学級の児童は、クラス目標に「自分から」や「協力」を挙げていることもあり、クラスのみならず協力し、助け合おうとする様子が見られる。

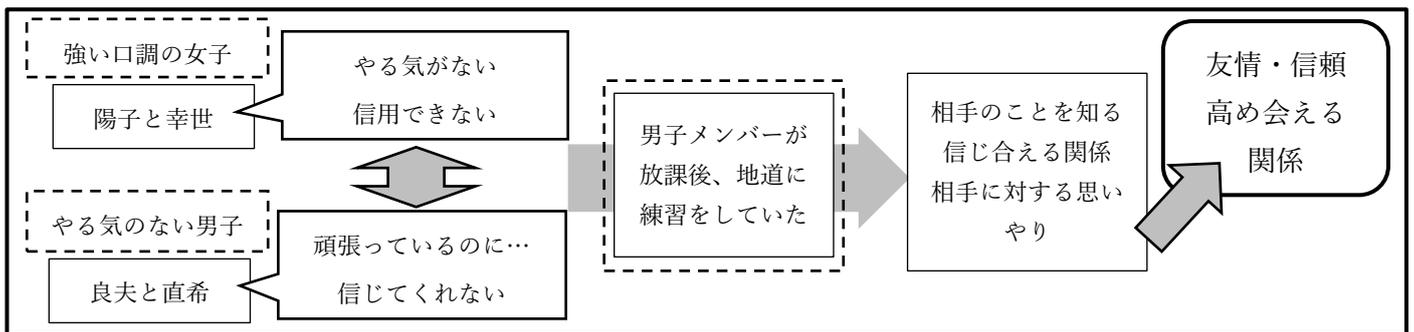
しかし、進級当初に比べると、徐々に関わり方に異性と同性とで違いが出てきているように感じる。特に女子は男子に対し不満感をもつことが多く、相手の考えをよく聞いたり、考えたりしないうちに「女子だから」「男子だから」と決めつけて、物事を捉えてしまうことがある。

また、自分と同じ考えや趣向の友達と一緒にになりたい傾向も強くなっており、親しい友達以外とは前向きに関われない児童もいる。

このことから、本教材をもとに、児童がお互いのよさを見つけたり、認めたりすることで、誰とでも分け隔てなく関わることの大切さに気づき、同性異性、親しい親しくないに関係なく、様々な人とよりよい関係を築いていきたいという意欲を高めたいと考えた。

### (3) 教材観

本教材は、スポーツ大会に向けてチームになった4人が、徐々に友情を育んでいく話である。初め、陽子と幸世は、男子メンバーの良夫と直希の態度にやる気のなさを感じ、いらいらを募らせる。しかし、良夫と直希が地道に努力していたことを知り、陽子と幸世は自分たちの言動を反省する。お互いのことを理解し、よさを認め合えたことで、最後は仲間として心をつなげることができる。陽子と幸世の考えの変容や、初めはただ組まれただけのチームだった4人が友情を育み、成長していく姿を見つめることで、お互いに高め合える関係としての友情の良さに気がついたり、異性や趣向の違う相手とも前向きに関わることの良さを実感したりすることができる。



## 4 指導上の支援及び留意事項

〈事前〉・ Google Form を使って、「男女の協力」についてアンケートを行うことで、本時の学習に対する見通しがもてるようにする。

〈本時〉・ 事前に行ったアンケート結果を見て、自分たちの悩みや課題を確認することで、本時の学習に対する関心を高め、本時に学習することの見通しをもつことができるようにする。

- ・ クラスの友達と自由に意見交換をすることで、友達と話していくうちに、自分の考えをまとめることができたり、もともとの考えをより深めたりすることができるようにする。
- ・ 児童の意見や考えに対して、「男子は変わってないってことだね?」「もともと仲の良い4人組だったら、最初から協力できて良いのではないか?」などの問い返しや補助発問を行うことで、どちらか一方ではなく、お互いに歩み寄ることの大切さや、同性異性、親しい親しくないに関係なく、様々な人と関係を築くことのよさなど、児童が気付いていない部分に気が付くことができるようにする。
- ・ 児童の発言をすぐに板書せず、クラス全体に聞き返したり、他の子に説明し直させたりすることで、教師と児童の一对一のやり取りではなく、クラス全体で話し合うことができるようにする。
- ・ まとめは児童の言葉でまとめていくことで、児童にとって納得のいくまとめになるようにする。

〈事後〉・ 授業での学びをまとめたものを、「道徳の足跡」として教室後方に掲示することで、児童がいつでも学習したことを振り返ったり、これまでの学習の積み重ねを実感したりできるようにする。



	<p>めあてについての考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを書く。(3分)</li> <li>・クラス全体で共有する。(5分)</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>もともと仲良しの4人組だったら、きっと最初から協力できるよね。そっちの方が良いのでは？</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初から相手のことを決めつけたりせず、相手のことを知ることが大切。</li> <li>・相手のことを知ることによって、相手のよさや頑張りに気が付くことができる。信用できるようになる。</li> <li>・自分ばかりでなく、相手の気持ちも考えることが大切。</li> <li>・「お互いに」という気持ちを持つ。</li> <li>・自分も信用してもらえるように行動する。</li> <li>・仲良し4人組でやったら、もちろん楽しい。でも、仲良しではなかった友達と協力できたら、今まで友達じゃなかった人とも友達になれる。</li> <li>・友達が増えて、クラス全体の仲も深まる。</li> <li>・仲良しの友達とだと、できないこと(気が付かないこと)がある。</li> </ul>	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの言葉を使ってまとめることで、子どもにとって納得のいくまとめになるようにする。</li> <li>・仲良し4人組も良いという意見も認め、どちらも良さがあると広く受け止める。</li> </ul>
終末	<p>本時の学習を振り返る</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手のことを決めつけたりしないで、相手をよく知って、よいところやがんばりを見つきたい。</li> <li>・自分のことばかりでなく、相手の気持ちも考えたい。</li> <li>・仲良しももちろん良いけど、いろいろな人と関わると、友達が広がったり、いろいろなことに気が付いたりできる良さもある。</li> <li>・クラス目標にも「自分から」「協力」とあるから、自分から意識して、みんなと協力したい。</li> <li>・自分もよさを見つけてもらえるように頑張りたい。</li> </ul>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・机間巡視をし、共有したい振り返りは発表してもらおう。そのなかで、付け足す言葉があれば板書に付け足し、振り返りを聞いて、さらに深められるようにする。</li> </ul>

(4)板書計画

**めあて** 友達と協カカするために大切なことは何だろう？

4人の心はどう変わったのか？

**不安** めんどく...  
むげや  
いらいら

協カカできていない



決めつけていた  
相手のことを知らない  
↳ 信じられない (×信用)  
自分のことだけ

協カカできています



相手のがんばりに気がいた  
相手を知った  
↳ 信じられるように (信用)  
相手のことも考える (思いやり)

決めつけて  
ごめんね  
いっしょに  
がんばろう!

よせ

友達が増える  
・クラスの仲が深まる  
・よいところが知れる  
・仲良しだけではできないことがある

決めつけたりせず、  
相手のことを知る  
↳ 信じ合える  
・相手の気持ちを考える  
・おたがいに  
・自分から

**ふりかえり**

